

「 「 「 「 _____

「 「 ☆特集記事

.....

◆◆◆歩行者利便増進道路制度について◆◆◆

～コロナ禍から人中心のみち活用～

(国土交通省 道路局 環境安全・防災課)

コロナ禍において、感染防止と人・社会とのつながりの両立という観点から、屋外公共空間への期待が高まっています。国土交通省道路局では、コロナ禍における道路空間活用を推進しており、本稿ではコロナ占用特例や歩行者利便増進道路制度について紹介します。

「 「 「 「 _____

「 「 ☆道路占用Q&A

.....

◆◆◆道路占用許可と道路使用許可の一括受付等◆◆◆

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

道路占用許可と道路使用許可の一括受付等について解説する。

「 「 「 「 _____

「 「 ☆高速道路会社の取り組み ○○○。.. ○○○。

.....

◆◆◆高速道路休憩施設シャワーステーションの利便性向上に向けた取り組み◆◆◆

(西日本高速道路(株))

近年、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」の制定による、トラックドライバーの休憩時間の確保などから、高速道路休憩施設においても大型車の駐車が増加している。SAPAの駐車マス拡充を進めているが、主に職業ドライバーのニーズが高い施設のシャワーステーションについても、増設要望や営業時間延長(24時間営業化)等の声が多く寄せられている。人員確保や採算性の課題を踏まえた更なるシャワーステーションの利便性向上の為、スマートキー(電子錠)を活用したシステムを開発し、無人運用の試行を行った結果について報告する。



☆☆ ☆地域における道路行政に関する取り組み事例



★人中心の道路空間の構築に向け道路占用制度を活用した取り組みについて★°・*:. (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課)

令和2年初頭より新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、来訪者が減少した沖縄県那覇市国際通りにおいて道路占用制度を活用した活性化の取組と人中心の道路空間の構築に向けた検討について紹介します。



★有料道路「伊豆中央道」及び「修善寺道路」へのETC多目的利用サービス (ETCX (イーティーシーエックス)) の導入について★°・*:. (静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課/静岡県道路公社)

静岡県道路公社は、新型コロナウイルス感染症対策等を目的に、ETCカードを使った非接触のキャッシュレス決済が可能となる新しいサービス「ETC多目的利用サービス」を導入する。本稿では、令和3年7月1日に有料道路で全国初の本格導入となるETC多目的利用サービス「ETCX」について紹介する。



★富士市の自転車を活用したまちづくり★°・*:. ～自転車活用推進計画の策定と今後の自転車施策について～ (富士市 建設部 建設総務課)

現在、富士市は自転車活用推進計画の策定に取り組んでいます。プロサイクリングチームの活動拠点であること、太平洋岸自転車道・富士山一周サイクリングコースといった魅力的なサイクリングコースを有し、サイクルツーリズムを呼び込む適地であるなどの利点を生かし、自転車を活用したまちづくりに向けた取り組みを紹介します。



☆☆ ☆編集後記



銀歯がとれてしまいました。歯科医院に行かなければとわかっていながら、2年半が経過していました。食事のたびに歯間に挟まり、とても不快でしたが、痛みがなかったこともあ

り、治療を先延ばしにしていました。

先日、ようやく治療への決心が固まり、予約をしようと歯科医院を訪れたところ、当日の治療が可能とのことで、急きよ治療することになりました。放置期間が長かったので、むし歯が進行しており、たっぷりと削られました。麻酔をしてもらったので、痛みはほぼ感じませんでした。歯を削るときの振動と金属音が、とても怖かったです。また、治療後は、麻酔がとれるまでの時間が何かと不自由です。うがいすることもままならず、食事もとれず、痺れている状態が3時間くらい続きました。やっぱり、歯科医院にお世話になるのは苦手です。

コロナ禍で、むし歯治療を先延ばしにしている人が多いといわれていますが、口腔内は、細菌やウイルスなどの入り口であると同時に、唾液の分泌によって、体内への侵入を防ぐバリア機能を果たしてくれています。虫歯や歯周病などにより唾液の量が減ると、このバリア機能が十分に働かず、免疫力の低下につながります。口腔内の環境を整えることは、虫歯や歯周病などを予防するに留まらず、感染症を予防するための効果も期待できるようです。

実に、5年ぶりの来院だと歯科医に教えてもらい、随分メンテナンスを怠っていたのだと気づきました。思い返せば約5年前、この編集後記にて、「8020（ハチマルニイマル）運動※」を実践していくと表明していました。それにもかかわらず、しっかり取り組めていなかったことを反省しています。コロナ禍では特に、口を開けて治療が行われる歯科医院にかかることは不安でしたが、日頃からマスク、手袋、ゴーグル等を着用し、あらゆる感染症予防への対策を徹底しているとのこと。治療の経過はとても良好で、快適に食事をするだけでなく、美味しく感じられるようになり、治療の大切さを実感しました。せっかくの機会なので、ほかの歯のメンテナンスもしてもらい、今度こそ、口腔内環境を整えたいと思います。(U)

※「8020（ハチマルニイマル）運動」：80歳になっても自分の歯を20本以上保ち、生涯にわたって自分の歯で食べる楽しみを味わえるように取り組むこと。